

新学校体育叢書

水泳の授業

学校体育研究同志会編

A 5判並製・本文 224 ページ 定価 2,100 円 (税込)

…… 今度の指導要領の解説書や指導要領に準拠した体育授業に関するテキストには、体育同志会の実践研究の成果が参考にされている部分が見受けられます。このことは、わたしたち民間の実践研究が先進的なものであり、これからの体育を考えると民間の実践研究の成果が無視しえないものになっていることを表しています。このような意味で「新叢書」は、指導要領が求めていることに十分応えられる内容をもっているだけでなくそれをさらに越えて、これからの学校体育のあり方を全国の学校体育に関わる人たち、とりわけ教師、父母、子どもたちに向けて発信するものになっています。(本書「新学校体育叢書発刊によせて」より)

■主な目次

第1部 水泳の授業

第1章 文化としての水泳の特質(本質)とその指導の考え方

1. 学校における水泳指導の課題
2. 運動文化としての水泳の捉え方

第2章 水泳の教科内容と指導の系統について

1. 水泳の指導でどんな力をつけるのか
2. 水泳の体系と指導の系統性

第3章 水泳の学習指導方法と学習集団

1. 水泳における異質協同のグループ学習
2. 水泳における相互評価と集団思考・実験

第2部 ドル平泳法の指導

第1章 基礎泳法としての「ドル平泳法」

1. 呼吸法への着目と重視(姿勢制御を含む腕と呼吸の協応)
2. リラクゼーションと体幹姿勢保持(伏し浮き)

第2章 教育内容の体系と指導系統

1. ドル平泳法以前の指導系統
2. ドル平泳法の指導系統
3. ドル平泳法からの発展
4. ドル平から水辺文化へ

第3部 水泳の指導(実践編)

第1章 水泳指導における発達筋道

1. 水遊びで育てる(就学前・小学校低学年の水泳指導)

2. 泳ぐことの可能性(小学校中学年の水泳指導)
3. 泳ぎの仕組みを考える(高学年・中学校)

第2章 発達課題と水泳指導

1. 幼児・小学校低学年の水泳指導
2. 小学校中学年の水泳指導
3. 小学校高学年の水泳指導
4. 中学・高校の水泳指導

第4部 水泳の指導(理論編)

第1章 水泳の文化史

1. 水泳文化
2. 競泳の歴史
3. 日本泳法

第2章 水泳の科学

1. 泳ぎにおける呼吸法
2. 水中で受ける力(静止時)
3. 水中で受ける力(移動時)

第3章 現在の水泳指導の考え方

1. 日本水泳連盟等の指導教程
2. トップレベルの指導
3. 障害者の水泳指導

資料 水泳「水辺文化」分科会における水泳実践・研究史

補論 運動文化論を基盤にした体育

創文企画

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-11 熊園錦町エルルポーズビル3F

TEL: 03-3295-4466 FAX: 03-3295-4453

<http://www.soubun-kikaku.co.jp> [振替] 00190-4-412700

書店でご注文いただくか、HP等から直接弊社までご注文ください。送料は弊社で負担いたします。